

基本理念

一人ひとりのおもいを大切にします

私たちは、利用者や地域のみなさん一人ひとりの、それぞれのおもいを大切にしていきます

みなに笑顔届けます

私たちは、みなさんすべてに、心からの笑顔が生まれるよう努めていきます

地域のくらしを守ります

私たちは、地域のみなさんの、自分らしく、生きがいのあるくらしを支えています



施設位置	施設種別	施設名	所在地	利用定員(名)
①	法人本部	事務局	〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター4階 TEL099-257-7667 FAX099-259-3939 E-mail j-office@kagoshima-swc.jp	—
②	児童養護施設	仁風学園	〒891-1304 鹿児島市本名町458-1 TEL099-294-2354 FAX099-294-4410 E-mail jinpu@kagoshima-swc.jp	42
	児童自立生活援助事業	わたぼうし		
③	児童養護施設	若葉学園	〒899-5411 始良市鍋倉190番地2 TEL0995-65-4313 FAX0995-65-4609 E-mail wakaba@kagoshima-swc.jp	80
—	女性自立支援施設		—	30
④	保育所	同胞保育園	〒892-0819 鹿児島市柳町3番地20 TEL099-222-2654 FAX099-222-2694 E-mail douhou@kagoshima-swc.jp	150
	地域子育て支援拠点事業	上町わくわくランド		—
⑤	保育所	鹿児島みなみ保育園	〒890-0068 鹿児島市東郡元町18番地3 TEL099-253-3145 FAX099-253-3146 E-mail k-minami@kagoshima-swc.jp	110
⑥	地域子育て支援拠点事業	鹿児島市南部親子つどいの広場 (たにっこりん)	〒891-0117 鹿児島市西谷山1丁目3-2 TEL099-266-6501 FAX099-266-6502 E-mail tanikkorin@kagoshima-swc.jp	—
—	母子生活支援施設		—	20世帯
⑦	障害者支援施設	ゆすの里	〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1丁目1番1号 TEL099-273-4175 FAX099-273-4177 E-mail yusunosato@kagoshima-swc.jp	日中活動 80 / 施設入所 70
	特定相談支援事業 障害児相談支援事業	ゆす		—
⑧	障害福祉サービス事業 (生活介護・自立訓練(生活訓練))	リハステーションゆす	〒892-0836 鹿児島市錦江町3番7号 TEL099-295-0415 FAX099-295-0453 E-mail rihayusu@kagoshima-swc.jp	20
⑨	障害者支援施設	川内自興園	〒895-0007 薩摩川内市百次町1110 TEL0996-22-4801 FAX0996-22-4803 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	日中活動 136 施設入所 100
	障害福祉サービス事業 (共同生活援助)	川内ひまわりホーム	〒895-0007 薩摩川内市百次町1092-3 TEL0996-20-1261 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	30
	障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス事業・ 保育所等訪問支援事業)	チャイルドクラブ あおぞら	〒895-0007 薩摩川内市百次町1110 TEL0996-21-1517 FAX0996-21-1518 E-mail sendai@kagoshima-swc.jp	10
⑩	障害者就業・ 生活支援センター事業	かごしま障害者就業・ 生活支援センター	〒892-0838 鹿児島市新屋敷町16番217号 県住宅供給公社ビルC棟2階217号室 TEL099-248-9461 FAX099-248-9462 E-mail kssc@kagoshima-swc.jp	—
⑪	障害者就業・ 生活支援センター事業	ほくさつ障害者就業・ 生活支援センター	〒895-0027 薩摩川内市西向田町11番26号 TEL0996-29-5022 FAX0996-29-5033 E-mail hssc@kagoshima-swc.jp	—

本誌の掲載につきましては個人情報保護法に基づき本人の承認を得て掲載しています。

飛翔

HISHO

Vol.71



CONTENTS

理事長就任あいさつ	P02
【特集】同胞学童クラブ17年間の歴史に幕	P03
ねっとわーく ～施設の窓から～	P04
【令和8年度】新規採用職員紹介	P08
事業計画・事業報告 他	P10
シリーズ人・簡単レシピ 他	P14



社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団
Kagoshima Social Welfare Service Corporation

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号 鹿児島県社会福祉センター4階
TEL 099-257-7667 FAX 099-259-3939
E-mail j-office@kagoshima-swc.jp URL <https://kagoshima-swc.jp>



理事長就任あいさつ

Message from the New Chairperson

新理事長 徳永 千早

日頃より当事業団の運営・事業推進につきまして、ご利用者様やご家族の皆様、地域の関係機関等の方々から温かいご支援とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

この度、令和8年6月29日に開催された令和8年度第2回理事会におきまして、下村一彦前理事長の後任として理事長に選定され就任いたしました。この重責を担うにあたり、身の引き締まる思いでございます。

当事業団は、設立以来、地域の福祉ニーズに寄り添い、障がい福祉・女性・母子福祉・高齢者福祉・児童福祉など多岐にわたる事業を64年余り展開してまいりました。

法人の基本理念は「一人ひとりの思いを大切にします」「みなに笑顔届けます」「地域のくらしを守ります」でございます。これからも、この理念のもと、これまで紡いだ歴史と信頼をしっかりと受け継ぎ、40年間プロパー職員として勤めた経験も活かしながら事業団のさらなる発展と職員がやりがいを持って働ける職場環境づくりに努め、持続的発展をめざした法人運営に誠心誠意努力してまいります。職員の皆様にはより一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

私たちを取り巻く社会環境は急速に変化しておりますが、役職員一同、一丸となって時代の変化に柔軟に対応し、皆様の期待に応えられるよう全力で取り組んでまいります。皆様方には変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



同胞学童クラブ 17年間の歴史に幕を閉じる

同胞学童クラブは、同胞保育園の建て替えと同時に平成21年4月1日に開園し、多くの子ども達を送り出してきましたが、令和8年3月31日をもってその歴史に幕を閉じました。

～令和7年度の思い出～



クッキング

真剣な眼差しでスーミータンを作っています。美味しくできたかな？



ハロウィンパーティ

「お菓子くれないといわずらっしゃうぞ!」みんなで仮装して各クラスや福祉館を回りました。



フラワーアレンジメント

集中して取り組んでいます。世界に一つだけの素敵な作品が完成しました。



遠足

貸し切り電車に乗って、お弁当を食べました。電車の中からたくさんの方に手を振りました。



伝統楽器・民謡の響き

生でおはら節を聴いたり、三味線や太鼓などの伝統楽器に触れました。



集合写真

学童クラブ最後の日に、園庭の桜の木の下で写真撮影をしました。みんな素敵な表情をしています。



学童カフェ(夏)

保育園の職員をおもてなしています。本物のカフェ店員さんのようです。



学童カフェ(ラスト)

最後の日には、家族の方や卒業した中高生も来てくれました。素敵な思い出です。

同胞学童クラブに通っていた子ども達が、高校や大学の入学などの大切な節目で、ご家族揃って顔を出しに来てくれることが嬉しかったです。これは、同胞学童クラブに通っていたことが、子ども達にとって素敵な思い出として心に刻まれているからなのだと思います。また、保育園の子ども達にとっても良い影響を与えてくれました。小学生のお兄さんお姉さんのようになりたいと、背中を追いかけている姿を見ることができました。

関係者の皆様には、これまでの永きにわたるご支援とご協力に感謝申し上げますとともに、学童クラブを卒業した子ども達がそれぞれの夢を叶えるように頑張ってくれることを願っています。

児童養護施設 仁風学園

アジサイキャンプアクティブ

令和8年3月14日(土)から15日(日)にかけて北薩広域公園オートキャンプ場でアジサイキャンプアクティブを行いました。

北薩広域公園オートキャンプ場は令和2年8月6日(木)から7日(日)にかけて当時の男子棟の小学生がキャンプで利用した場所であり、今回参加した高校生は久しぶりにキャンプ場へ足を運ぶことになりました。

高校生は「懐かしい。変わっていない」



と言いながら当時の思い出話をしていました。キャンプ場に到着すると、全員でバーベキューの準備を行い、子ども達も初めて火おこしをしました。

職員と子ども達で協力して一から準備をしたこともあり「美味しい。めっちゃ楽しい」と子ども達も大満足でした。

2日目の朝は職員と子ども達でお弁当作りを行い、曾木の滝へ行きました。曾木の滝では大迫力の滝を見て「すごいね」と言い驚いていました。お弁当は曾木の



滝の広場で食べ、子ども達からも「アクティブ楽しいね。また行きたい」と満足した声が聞け、来年度もキャンプに行く約束をしました。

職員、子ども達にとって、とても貴重で有意義な時間となりました。

■児童指導員：利川 和樹

保育所 同胞保育園

ひとりひとりが輝いた日

新年度がスタートして、約1ヶ月が過ぎた5月16日に、運動会が行われました。同胞保育園では、0～2歳の未満児と3～5歳の以上児クラスに分かれて、二部開催で行っています。

未満児クラスの0・1歳児は、「ディズニーランドの大冒険」という親子競技で、コーンを避けて通ったり、平均台の上を渡ったり、電車ごっこやトロッコに



乗ったりして、保護者と一緒に楽しみながら参加することができました。2歳児は、初めてのかげっこに挑戦したり、保護者と一緒にくまんに食べ物を届ける競技をしたりして、成長した姿を見せてくれました。

以上児クラスは、3歳児のお遊戯や4歳児のバルーン、5歳児のカラーガードなど見所がたくさんあります。新年度が始まって約1ヶ月の期間に、保育士と一緒に一生懸命練習した成果が見られました。そして、色別リレーは、3～5歳児の子ども達が一丸となって取り組み、たくさんの応援のもと最後まで走り抜けることができました。

このように運動会は、子ども達にとっても保育士や保護者にとっても成長や



達成感を感じられる大切な行事です。これからも素敵な思い出となるように取り組んでいきたいと思います。

■保育士：江籠平 凜花

児童養護施設 若葉学園

夜の外出

毎年恒例のGW未帰省者外出。職員と話し合っ、普段なかなか行くことのできない場所へ外出計画を立て、いざ出発!私達のグループは夜の水族館へ。子ども達にとって夜間に車に乗ることも貴重な経験。到着前からソワソワワクワクです。

水族館に到着するとお待ちかね、イルカショー。ショーは大盛況で、見渡す限り人、人、人。イルカが見えるのはイルカが



飛び上がった時だけ…。それでも子ども達はショーの楽しい雰囲気や、隙間から見えるイルカに大興奮。子ども達の反応を見て職員もほっこりです。ショーの後は館内観覧。水槽に顔を近づけ「かわいい!こわい!気持ち悪い!」。三者三様な感想を聞かせてくれました。観覧後は売店へ。海の生物をモチーフにしたグッズに子ども達も目を輝かせています。それぞれ自分の財布とにらめっこしながらお買い物。中には留守番の職員にお土産を買った子ども達も!子ども達の優しさに職員も嬉しい一幕でした。

最後に子ども達の希望のマクドナルドに寄って、軽食を食べながらの帰り道。ワイワイガヤガヤ楽しい声が聞こえていましたが、次第に静かになり、振り向くと



寝ている子ども達もチラホラいました。

子ども達だけでなく職員も楽しさを分か合い、素敵な思い出ができた外出でした。

■児童指導員：宮地 佑空

保育所 鹿児島みなみ保育園

みんなで作る運動会

5歳児クラスでの今年の運動会は、「主体性」を大切にし、保育士は、子ども達がどのようにしたら積極的に楽しく取り組むことができるかを考えながら、子ども達でやりたいことを決めて進めていくことを目標にしました。

普段の活動で取り入れているサークルタイムをもとに、競技内容や使用する曲についても、子ども達同士で話し合いながら決めていきました。話し合いを重ねる中で、



友だちの思いに気付き、受け止めようとする姿や、思いがぶつかり涙を見せる姿、自分の考えを譲れない姿も見られました。

そうした経験を大切にしながら、折り合いをつけていく中で、最後は多数決で決定しました。また、自分の思いを伝えるだけではなく、友だちの意見に耳を傾けながら関わる姿も少しずつ見られるようになりました。

一人ではなく、みんなで決めていく経験を重ねることで、運動会への期待も高まります。

子ども達一人ひとりの思いが詰まった、クラスみんなで作り上げていく保育園生活最後の運動会。

当日は、練習や話し合いを重ねてきた成果を発揮し、一人ひとりが自信を持って取り組む姿が見られました。友だちと力を合わせながら楽しむ姿に、子ども達の成長を感じました。



■保育士：上福 理桜

障害者支援施設
ゆすの里

地域とつながる生産活動

ゆすの里では、利用者の方々の障害特性や能力、心身の状態、意向等を考慮して、多種多様な生産活動の場を設けており、陶芸や木工、手芸、紙漉き等の作品作りに取り組んでいます。活動に対するモチベーションの維持向上や社会貢献等に繋がるよう、作品の販売も行っており、利用者の方々は利益の一部



を工賃として得ています。4月18日に川内自興園で開催されたスプリングバザーでは、生産活動で作製した作品を販売しました。その中でも特に好評だった作品を紹介します。

1つ目は、ゆすの里オリジナルキャラクター「ゆす」のキーホルダーです。毛糸のポンポンを使った作品です。

2つ目は、缶バッジです。イラストは利用者の方々が訓練の中で描いたものです。どの作品も利用者の方々の個性が詰まっています。今回は3名の利用者の方々とスプリングバザーに参加しました。販売や接客を行っていただき、「大変だったけど楽しかった。」という声も聞かれ、充実した1日になったと思います。



今年度もさまざまなバザーや地域イベントに出店を予定しています。お気に入りの作品を見つけに来ていただけると嬉しいです。

■作業療法士兼支援員：田島 早織

かごしま障害者就業・生活支援センター

交流が育む働くちから

かごしま障害者就業・生活支援センターでは、一般企業で働く登録者同士が交流を通じて余暇の充実や仕事への活力を育む目的で、年に3回「よか・余暇サロン」と題した在職者交流会を実施しています。

昨年10月には「休日の過ごし方」をテーマにハンバーガーとパフェ作りを行いました。互いに初めて顔を合わせる参



加者同士、初めは「1人暮らしですか?」「料理をしますか?」等、ぎこちない会話からのスタートでしたが、話しをしているうちに偶然グループの皆が野球好きなことが分かり、「今度の休日は日本シリーズを見に行く」と休日を楽しみに日々の仕事を頑張っていることを話してくれました。

また、趣味の物作りを広く知ってもらいたいと、展示会の案内をする参加者もいました。

会の終わりには「みんながどんな思いで仕事をして、休みの日にどんなリフレッシュをしているかを聞けてとても参考になった。明日からも頑張ろうって思いました」「次の会が楽しみです」等と感想が出て、交流が育むコミュニケーションの大切さを改めて感じることができました。



今年度もより良い交流会を実施したいと思います。

■主任支援員：三浦 敦子

障害者支援施設
川内自興園

訪問系サービスの取り組み

当園では、訪問整体・訪問販売・訪問美容・訪問リハビリなどの「訪問系サービス」を取り入れています。外出が難しい方でも、安心して専門的なサービスを受けられるのが訪問系サービスの魅力です。

訪問整体では、前かがみの姿勢が見られていた利用者の方が、徐々に姿勢



が改善され、ご本人もその変化を実感されています。

訪問販売では、野菜や果物のイラストが描かれた車が施設に到着すると、「来たよ〜」「楽しみだね」と笑顔で集まり、和やかな雰囲気の中で日用品の購入を楽しんでいます。

訪問美容では、カットやカラーなどその方の希望に合わせて丁寧に施術を行ってもらえるため、特に女性の利用者の方々から大変好評です。

訪問リハビリでは、無理のない範囲で楽しく身体を動かし、「体が軽くなった」「リハビリが楽しい」など利用者の方々から喜びの声が上がっています。

サービスを利用されている方々は皆さん笑顔で、普段とは違う特別な時間を



楽しんでいます。これからも、様々な訪問系サービスを充実させ、利用者の方々が笑顔あふれるひと時を過ごせるように工夫していきたいと思っています。

■支援員：岡元 萌恵

障害福祉サービス事業
リハステーションゆす

地域とのつながりを大切にした施設開放の取り組み

リハステーションゆすでは、地域の関係機関との連携強化と新規利用者の確保を目的に、年2回施設開放を実施しています。医療機関や相談支援事業所、地域包括支援センター等の関係者を対象に、施設見学や実際の訓練教材を活用したプログラム紹介を行い、当事業所の取り組みを知っていただく機会として



います。

参加者との意見交換では、「高次脳機能障害のある方の退院後の活動の選択に悩むケースが多い」「障害福祉サービスの情報を十分に届けられていない」といった現場の声も聞かれ、支援機関同士が顔の見える関係を築くことの大切さを改めて実感しています。

高次脳機能障害を始めた障害のある方が、地域で自分らしく生活できるよう支援する地域に密着した事業所であることを目指し、今後も関係機関との横のつながりを大切にしながら、利用者一人ひとりに寄り添った支援を行い、地域と共に歩む事業所であり続けたいです。施設見学については、いつでも見学出来ますのでお気軽にお問い合わせください♪



■支援員：中村 明香音

令和8年度 新規採用 職員紹介

- ①氏名 ②勤務先・職名
③特技／趣味 ④自己アピール・抱負



**Ikeda
Raya**

- ①池田 蘭夜 (いけだ らや)
- ②若葉学園・児童指導員
- ③読書
- ④まだまだ分からないことだらけで、ご迷惑をおかけしてしまうことも多々ありますが、たくさんの方を学びながら、自分なりに一生懸命、誠実に子ども達と向き合っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



**Yuasa
Miu**

- ①湯浅 美侑 (ゆあさ みう)
- ②同胞保育園・保育士
- ③パン屋巡り
- ④4月から0歳児クラスの担任として働かせていただいております。子ども達一人ひとりと丁寧にに関わり、毎日を楽しみながら一緒に成長していきたいです。学ぶ姿勢を忘れず、信頼される保育士を目指します。



**Shimozono
Ayumi**

- ①下園 歩 (しもぞの あゆみ)
- ②川内自興園・支援員
- ③筋トレ・ゴルフ
- ④以前事業団で働いていたこともあり、もう一度ここで新しい気持ちで勉強したいと思い戻ってきました。体を動かすことが好きで、体力には自信があります!利用者の方々と一緒に過ごせたらと思います。



**Fujio
Kenta**

- ①藤尾 賢太 (ふじお けんた)
- ②リハステーションゆず・支援員
- ③サッカー・車の洗車
- ④学生時代の障害者施設実習で、利用者の方々や職員の笑顔に感銘を受け福祉の道を志しました。昨年よりリハステーションゆずで勤務しています。「あなたがいるから頑張れる」と言われる職員を目指し、努力してまいります。



**Yakushiji
Kirari**

- ①薬師寺 きらり (やくしじ きらり)
- ②仁風学園・児童指導員
- ③休日にのんびり過ごしてリフレッシュすることが好きです!
- ④今年度より契約職員から正規職員となりました。より一層責任を感じるとともに、子ども達にとって安心して関われる存在で居たいと思っています。最近、"姉貴"と呼ばれることも増えてきましたが、それだけ距離が近づいてきたのかなと嬉しく感じています。これからも何事にも一つひとつ丁寧に関わっていきたいです。



**Fukunaga
Yuka**

- ①福永 有香 (ふくなが ゆか)
- ②若葉学園・調理員
- ③ライブに行くこと・バレーボール
- ④前職の病院勤務で培った栄養管理や調理の経験を生かし、子ども達が安心して食べられる温かい食事づくりを心がけ、笑顔につながるよう努めていきたいです。



**Uchikura
Hina**

- ①内倉 ひな (うちくら ひな)
- ②同胞保育園・保育士
- ③ディズニー映画とパークに行くのが好きです
- ④4月から2歳児のクラス担任をしています。2歳児ならではの「やってみよう」という気持ちを大切にしながら、笑顔いっぱいのクラスづくりを目標に過ごしています。子ども達と一緒に成長できる保育士を目指します。



辞令交付式〈令和8年4月1日〉



令和8年度 事業計画

I 基本方針

我が国では、令和7年の出生数が70.5万人と過去最低を更新し、10年連続の減少となるなど少子化と人口減少が急速に進行しており、福祉現場では深刻な人材不足が続いている。また、令和8年12月には「子ども性暴力防止法」が施行予定であり、子どもの安全確保や権利擁護に関する社会的要請は一段と高まっている。

これらの状況に的確に対応していくため、社会福祉法人には、ガバナンスの強化、運営の透明性向上、財務規律の確保など、より高い公益性を備えた法人運営が強く求められている。

このような中、当事業団においては、鹿児島県社会福祉事業団基本理念（以下「事業団基本理念」という。）及び経営理念を基本的方向として、令和7年度に策定した「経営計画2025」（以下「経営計画」という。）に掲げる経営方針に基づき、四者満足（利用者・地域・職員・経営）の実現と、公益性と経済性のバランスのとれた法人経営に努めている。

令和8年度は、経営計画の中間年度として、これまでの取組の成果と課題を的確に把握し、事業団を取り巻く環境や諸課題を踏まえつつ、4つの柱からなる経営方針に沿って定めた以下の推進目標の達成に向けて、全職員が一丸となって取り組むものとする。

1. 質の高いサービスの提供

すべての職員が事業団基本理念に基づき共通の視点を持ち、利用者一人ひとりの人権を尊重し、個人の尊厳に配慮した、きめ細やかで質の高いサービスの提供に努めるとともに、安全・安心な生活環境及び利用環境を提供する。

あわせて、職場環境の改善・充実を図り、職員の満足度向上を通じて、利用者の満足度を高めていく。

2. 地域福祉の推進

地域共生社会の実現に資するため、新たな自主事業の展開や、地域における公益的な取組を積極的に推進する。あわせて、関係機関との連携体制を強化し、包括的な支援体制の構築を図る。

また、地域住民からの信頼を得るため、地域の安全・安心に資する取組や、積極的な情報発信を行い、地域の多様な福祉ニーズに的確に対応した事業を展開する。

3. 経営基盤の強化

安定的かつ持続的なサービス提供を可能とするため、全職員が一体となって経営基盤の強化に取り組む。あわせて、社会福祉法をはじめとする関係法令、事業団基本理念、職員倫理綱領、社会規範及びモラルを遵守し、信頼性の高い法人経営の実現を図る。

4. 人材の育成

総合的な人材育成計画に基づき、職員がやりがいと希望を持って働くことのできる魅力ある職場づくりを推進する。そのため、キャリアパス制度、勤務評価制度及び教育研修制度の充実を図る。

さらに、職員の心の健康の保持・増進を目的として、EAP（従業員支援プログラム）の活用をはじめとする労働環境の改善に努め、人材の確保・定着・育成に向けた取組を強化する。

令和7年度 事業報告

I 概要

我が国では、令和7年の出生数が70.5万人と過去最低を更新し、10年連続の減少となるなど、少子化と人口減少が急速に進行している。これに伴い、地域社会の担い手不足は一層深刻化し、その影響は広範に及んでいる。

また、社会福祉法人においては、福祉ニーズの複雑化・多様化や地域社会の変容に対応した取組が求められる一方で、介護・福祉分野における人材確保は依然として困難な状況が続き、安定的なサービス提供の維持が大きな課題となっている。

このような状況のもと、本事業団は「鹿児島県社会福祉事業団経営計画2025」に基づき、四者満足（利用者・地域・職員・経営）の実現を目指し、公益性と経済性のバランスのとれた法人経営を推進するとともに、安定的かつ持続的な施設運営を支える経営基盤の強化に取り組んだ。

また、基本理念および経営理念の実現に向け、職員が一丸となって各事業を展開し、地域における社会福祉事業の担い手として、より高い水準の事業経営に努めた。

1. 質の高いサービスの提供

利用者一人ひとりの人権を尊重し、個人の尊厳に配慮したきめ細やかなサービスの提供に努めるとともに、安全・安心な生活環境および利用環境の整備を進め、自立に向けた支援の充実を図った。

また、各施設において福祉サービス評価を実施し、職員による自己評価および利用者等による評価を踏まえ、サービス改善に取り組むとともに、事業継続計画（BCP）の充実やリスクマネジメント体制の強化に努めた。

2. 地域福祉の推進

地域住民からの信頼を得られるよう、子育て世帯を対象とした子育てサロンの開催、小中学校等での「子どもの人権」をテーマとした講話の実施、地域住民参加型の無料開放講座・コミュニティ講座の実施など、地域の多様な福祉ニーズに対応した事業を展開した。

また、ホームページや各種SNS、コミュニティFM放送局等を活用し、積極的な情報発信に努めた。

3. 経営基盤の強化

安定的かつ持続的なサービス提供を可能とするため、四半期ごとに経営計画推進会議を開催し、経営状況の分析や増収策の検討を行うとともに、ガバナンスおよび財務規律の強化を図るため、内部監査や外部監査等を実施した。

また、「鹿児島県社会福祉事業団法令遵守規程」に基づき、役職員等の法令遵守意識の向上に取り組むとともに、職場内のハラスメント防止の強化、個人情報保護をはじめとするセキュリティ対策の徹底を図った。

4. 人材の育成

総合的な人材育成計画に基づき、職員がやりがいと希望を持って働ける魅力ある職場づくりを進めるため、キャリアパス制度、勤務評価制度、教育研修制度の充実と円滑な運用に努めるとともに、職員採用試験の通年実施、効果的な広報媒体やツールを活用した求人情報の発信、採用内定者との交流会の実施など、人材の確保・定着・育成に向けた取組を強化した。

また、職員の心の健康の保持・増進を図るため、EAP（従業員支援プログラム）に基づくストレスチェックやカウンセリング等を実施した。

決算報告

資金収支計算書

令和8年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目		予算	決算	差異
事業活動による収支	事業活動収入計	2,356,207,000	2,349,018,016	7,188,984
	事業活動支出計	2,273,185,000	2,193,717,382	79,467,618
	事業活動資金収支差額	83,022,000	155,300,634	△ 72,278,634
施設整備等による収支	施設整備等収入計	280,000	305,410	△ 25,410
	施設整備等支出計	50,593,000	49,181,436	1,411,564
	施設整備等資金収支差額	△ 50,313,000	△ 48,876,026	△ 1,436,974
その他の活動による収支	その他の活動収入計	41,460,000	30,370,726	11,089,274
	その他の活動支出計	163,748,000	163,617,751	130,249
	その他の活動資金収支差額	△ 122,288,000	△ 133,247,025	10,959,025
予備費支出		13,804,000	0	13,804,000
当期資金収支差額合計		△ 103,383,000	△ 26,822,417	△ 76,560,583
前期末支払資金残高		662,191,000	662,191,434	△ 434
当期末支払資金残高		558,808,000	635,369,017	△ 76,561,017

事業活動計算書

令和8年3月31日現在 (単位:円)

勘定科目		当年度決算	前年度決算	差異
サービス活動増減の部	サービス活動収益計	2,322,680,638	2,187,856,168	134,824,470
	サービス活動費用計	2,300,667,315	2,106,594,913	194,072,402
	サービス活動増減差額	22,013,323	81,261,255	△ 59,247,932
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計	26,337,378	26,573,947	△ 236,569
	サービス活動外費用計	17,842,311	15,699,120	2,143,191
	サービス活動外増減差額	8,495,067	10,874,827	△ 2,379,760
経常増減差額		30,508,390	92,136,082	△ 61,627,692
特別増減の部	特別収益計	639,627	48,545,905	△ 47,906,278
	特別費用計	13,329	104,384,892	△ 104,371,563
	特別増減差額計	626,298	△ 55,838,987	56,465,285
当期活動増減差額		31,134,688	36,297,095	△ 5,162,407
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額	1,567,284,746	1,531,158,651	36,126,095
	当期末繰越活動増減差額	1,598,419,434	1,567,455,746	30,963,688
	その他の積立金取崩額	18,700,000	46,129,000	△ 27,429,000
	その他の積立金積立額	143,500,000	46,300,000	97,200,000
	次期繰越活動増減差額	1,473,619,434	1,567,284,746	△ 93,665,312

貸借対照表

令和8年3月31日現在 (単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘 定 科 目	当 年 度 末	前 年 度 末	増 減	勘 定 科 目	当 年 度 末	前 年 度 末	増 減
流動資産	762,619,562	783,890,139	△ 21,270,577	流動負債	221,273,600	209,900,878	11,372,722
固定資産	3,718,443,753	3,770,135,892	△ 51,692,139	固定負債	404,136,563	411,358,205	△ 7,221,642
				負債の部合計	625,410,163	621,259,083	4,151,080
				純 資 産 の 部			
基本財産	3,155,421,745	3,315,696,294	△ 160,274,549	基本金	342,534,091	342,534,091	0
				国庫補助金等特別積立金	1,798,070,627	1,906,319,111	△ 108,248,484
				その他の積立金	241,429,000	116,629,000	124,800,000
その他の固定資産	563,022,008	454,439,598	108,582,410	次期繰越活動増減差額	1,473,619,434	1,567,284,746	△ 93,665,312
				純資産の部合計	3,855,653,152	3,932,766,948	△ 77,113,796
資産の部合計	4,481,063,315	4,554,026,031	△ 72,962,716	負債及び純資産の部合計	4,481,063,315	4,554,026,031	△ 72,962,716

財産目録

令和8年3月31日現在 (単位:円)

資産・負債の内訳	
Ⅰ 資産の部	
流動資産	817,633,982
固定資産	3,718,443,753
資産の部合計	4,536,077,735
Ⅱ 負債の部	
流動負債	276,288,020
固定負債	404,136,563
負債の部合計	680,424,583
差引純資産	3,855,653,152

苦情解決の対応状況

令和7年度に受け付けた当事業団苦情対応規程に基づく苦情の件数は、事業団全体で17件でした。

施設種別	苦情件数	苦情申出人				苦情種別内訳						
		利用者	家族	代理人	その他	職員の 接遇	サービスの 質量	利用料	説明・ 情報提供	被害・ 損害	権利 侵害	その他
児童養護施設	1		1			1						
女性自立支援施設	2	2							2			
保育所	7	2	5			5			2			
地域子育て支援拠点事業												
母子生活支援施設	2	1			1	1					1	
障害者支援施設	4	4				3	1					
障害福祉サービス事業	1	1				1						
合計	17	10	6		1	11	1		4		1	

寄せられた苦情に対しましては、「相談苦情対応マニュアル」に従い迅速かつ適切に対応し解決しています。苦情の内容・対応とその結果につきましては、当事業団のホームページに掲載しております。今後も利用者・関係者の皆様からの声（相談・苦情）を大切に受け止めサービスの向上に努めていきます。

役員名簿

令和8年6月29日現在

役員名	氏名	現職名等	当初就任 年月日
理事長	徳永 千早		R8.6.29
常務理事	鮫島 正平	(事務局長兼務)	R7.4.1
理事	松田 典久	元 鹿児島県 保健福祉部長	R2.4.1
〃	吉見 昭文	鹿児島県 社会福祉協議会 常務理事兼事務局長	R6.12.12
〃	渡邊 正人	鹿児島県 民生委員児童委員協議会 会長	R2.4.1
〃	田中 正幸	元 鹿児島県共同募金会 常務理事兼事務局長	H29.4.1
〃	野口 純仁	川内自興園長	R7.4.1
監事	池田 利博	元 仁風学園長	H25.4.1
〃	臼井 英雅	元 若葉学園長	H30.12.14

役員任期：令和7年6月27日から令和9年の定時評議員会の終結の時まで

評議員名簿

令和8年6月29日現在

役員名	氏名	現職名等	当初就任 年月日
評議員	西井上 誠	元 鹿児島県 社会福祉協議会 常務理事	R4.6.24
〃	橋口 秀仁	日本赤十字社 鹿児島県支部 事務局長	R4.6.8
〃	有村 絹子	鹿児島県 民生委員児童委員協議会 副会長	R8.6.8
〃	竹井 浩子	鹿児島県 身体障害者福祉協会 常務理事兼事務局長	R8.6.8
〃	新地 哲郎	鹿児島県 手をつなぐ育成会 常務理事兼事務局長	R4.4.1
〃	上橋 勉	鹿児島県 老人クラブ連合会 常務理事兼事務局長	R7.6.27
〃	大小田 敦	鹿児島県 保健福祉部次長 (福祉担当)	R8.6.8
〃	田代 孝也	鹿児島県 保健福祉部 子ども政策局次長	R8.6.8

評議員任期：令和7年6月27日から令和11年の定時評議員会の終結の時まで



川内自興園
主査支援員
鷲尾 真也

- ①事業団に勤務されて一番印象に残っていることは何ですか？
- 川内自興園に初めて来た年に熊本で地震があり、「農業復興ボランティア」として利用者の方々と一緒に熊本までボランティアに行ったことがありました。今年は10年目を迎え、復興の様子がテレビなどでも放送されていたが、利用者の方々と一緒に復興に携わったことを感慨深く思い出されます。
- ②仕事をする上で、特に大切にしていることは何ですか？
- 私は自分で思っていることを言語化して相手に伝えることがとても苦手なのですが、利用者の方々と職員に対して、「自分で思っていることを正直に話す」ことを大切にしています。
- ③休日の過ごし方を教えてください。
- 休日はだいたいゲームをして過ごします。とはいえ、数年前から妻が仕事を始めたのでそれなりに家事もするようになりました。私

をご存じの方は「え、本当？」と思うかもしれませんが事実です。ちゃんと掃除、洗濯をやっています。

④座右の銘は何ですか？

特にはないですが、先にも触れたように正直でありたいと思っています。相手に対してはもちろんですが自分に対しても、誰も見ていないからと手を抜いたりしないようにしていきたいです。

⑤事業団に勤務している後輩へメッセージをお願いします。

もし利用者の方々のことで悩んだり、迷ったりしているなら大いに時間を使ってください。答えがなかったりしますが、時間がたつてその利用者の方に会ったりすると、とても幸せな気分になります。事務関係で苦労されている方であれば「頑張れ」としか言えませんが、ちゃんとその苦労を見ている人もいます。私もその一人です。



ちょっと気になるニュース

児童養護施設 仁風学園 『こころのあかり絵画コンクール2025』理事長賞 森 夏希

サザンカホームの小学2年生、森 夏希（通称なっつん）君と担当児童指導員の森（通称森ちゃん）で『こころのあかり絵画コンクール2025』に出展する絵画について話した。テーマが「大切にしたい森と自然」という事で、なっつんはクレヨンで画用紙いっぱいに母親の顔と森ちゃんの顔、にいに（母親の友達）の顔と自分の顔を描き、バックには葉っぱをたくさん描いた。完成すると、素敵な絵が完成したねと一緒に喜ぶ事であった。

令和7年12月15日付けで、『こころのあかり絵画コンクール2025』でなっつんが「理事長賞」を受賞し、「やったー。凄い。」と大はしゃぎであった。なっつんは誇らしげに満面の笑みを浮かべ、大きな声で「ありがとうございました。」と挨拶をすると、学園の職員からたくさんの拍手をもらい、嬉しそうな様子が見られた。なっつんにとって、思い出に残るとても良い経験となった。

児童指導員：森 明美



施設の簡単レシピ！

アボカドの さっぱりサラダ

Refreshing Avocado Salad

Recipe!

作り方

- ①：アボカド・トマト・チーズは1口大の食べやすい大きさにカットし、軽く混ぜます。
- ②：マヨネーズ・ヨーグルト・レモン果汁・塩こしょうを①に混ぜて完成です。



材料(作りやすい分量／おおよそ4人分)

- アボカド 1個
- トマト 1個
- プロセスチーズ(ブロック) 6個
- マヨネーズ 大さじ2
- ヨーグルト(無糖) 大さじ2
- レモン果汁 小さじ1
- 塩こしょう 適量

【ひとくちメモ】

～ 今日、食べたい時のアボカドの選び方 ～

アボカドは、皮がチョコレート色から黒色に近くツヤがあり、手のひらでそっと押してゴムボール程度の弾力があり、ヘタが少し浮いているものを選ぶと食べ頃でおいしいです。

●南部親子つどいの広場 主査栄養士兼主査保育士：松永 美鈴

お疲れ様でした！

令和8年3月31日付退職

施設名	職名	氏名	写真の位置
若葉学園	児童指導員	川路 梨那子	
若葉学園	児童指導員	岩元 智広	写真左から
鹿児島みなみ保育園	主任保育士	松田 みなみ	
母子生活支援施設	寮長	岩下 藏久	
若葉学園	参事	徳永 千早	
川内自興園	地域支援課長	岩崎 里美	
かごしま障害者就業・生活支援センター	主任支援員	藤野 明日香	

